トラック昇降はしご　TRH 型

取扱説明書

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本取扱説明書に従い安全にお使いください。
この説明書は製品の使いかたと、ご使用上の注意を記載しています。製品のご使用前に必ずこの取扱説明書を読んでください。お読みになった後も、いつもそばに置いて、わからないときにご再読ください。

- 梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店もしくは弊社までお申し出ください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

- 誤使用や不注意による転落に注意してください。
- はしごは、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、はしごの安定した状態をご確認ください。

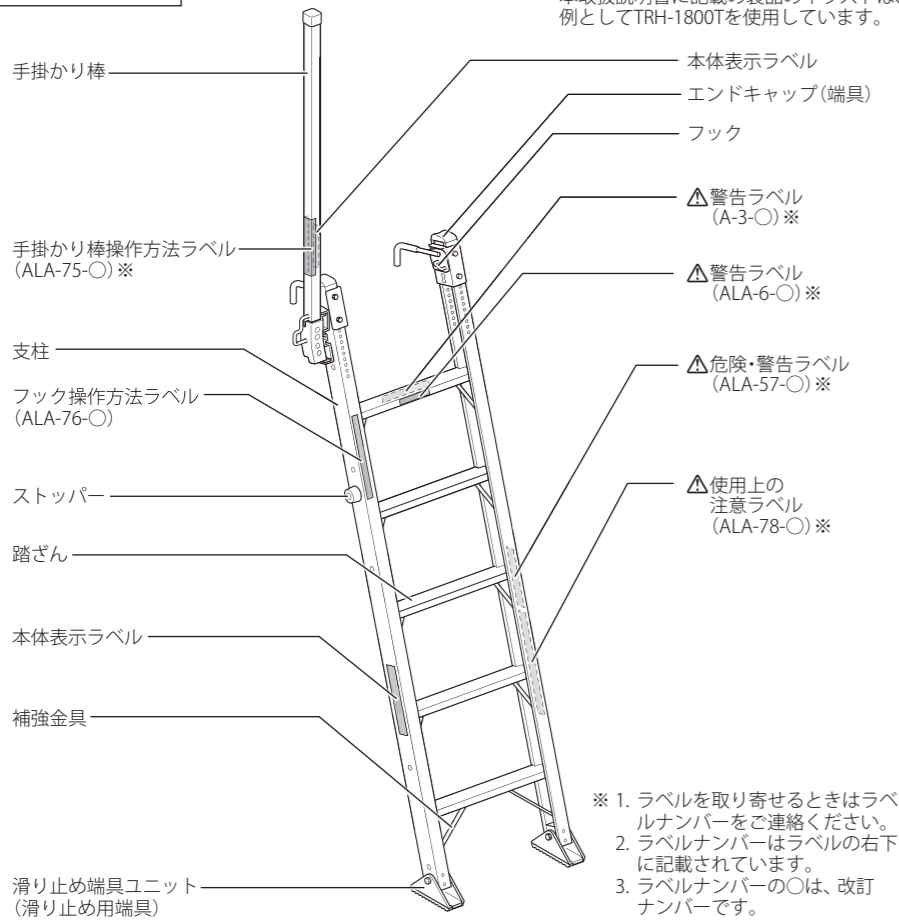
各部の名称

本取扱説明書に記載の製品のイラストは、例としてTRH-1800Tを使用しています。

※ 1. ラベルを取り寄せるときはラベルナンバーをご連絡ください。
2. ラベルナンバーはラベルの右下に記載されています。
3. ラベルナンバーの○は、改訂ナンバーです。

■部品

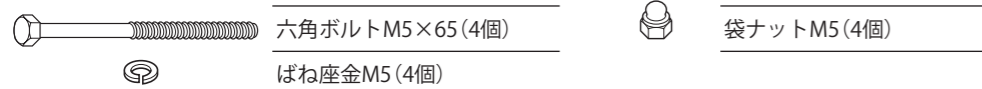
フック（L）

フック（R）

■締結部品

※部材は裏面の「使いかた」を参照してください。

六角ボルトM5×65（4個）

袋ナットM5（4個）

ばね座金M5（4個）

必要な工具　M5用スパナ2本、十字ドライバー1本（手掛かり棒、ストッパーを付け替えるとき）

安全上のご注意

- 使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。
- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- この説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

＜絵表示について＞
警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。

感電のおそれがあることを示します。

製品を操作するときに、手をはさむおそれがあることを示します。

裏面を使うことで、転落のおそれがあることを示します。

バランスをくずして、左右方向への転倒や転落のおそれがあることを示します。

使用条件

⚠危険

- **はしごの裏面は使用しない。**
転倒や転落のおそれがある。

- **はしごの立て掛け角度は、約 75 度にする。**
転倒や転落のおそれがある。
- **設置するときや持ち運ぶときは、配電線、周囲の人や物に注意する。**
感電や器物損傷などのおそれがある。

⚠警告

- **トラック昇降用のはしごとしての用途以外の使いかたをしない。**
ケガや器物損傷のおそれがある。

- **改造・分解しない。**
本製品の破損による転倒、転落のおそれがある。
- **体調不良や安静を要するときには使用しない。**
身体のバランスが保てずに転倒や転落のおそれがある。
- **破損や変形した本製品は使用しない。**
ケガや器物損傷のおそれがある。
- **子供や取扱説明書・ラベルの内容が理解できない人には使用させない。**
ケガや器物損傷のおそれがある。
- **子供が使用できる状態で放置しない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **高さ調節のために台や箱の上に乗せて使用しない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **本製品の支柱から身体を乗り出さない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **手掛かり棒に寄りかからない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **同時に 2 人以上乗らない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **本製品から飛び降りない。**
ケガや器物損傷のおそれがある。
- **本製品を背にしたり、手放しで昇り降りしない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **本体表示ラベルに記載している最大使用質量の範囲内で使用する。**
転倒、転落や本製品の変形などのおそれがある。
- **使用前には必ず点検を行い、異常の有無を確認する。**
ケガや器物損傷のおそれがある。
- **足元をよく確認しながら昇り降りする。**
転倒や転落のおそれがある。
- **使用前には必ずトラックのエンジンを停止する。**
ケガや器物損傷のおそれがある。
- **本製品を伸縮するときは、可動部で手指や足をはさまないように注意する。**

⚠注意

- **本体に貼り付けているラベルがなくなったり、読めなくなったりした場合は、製品を使用しない。**
ケガや器物損傷のおそれがある。
- **運搬時にロープなどで固定するときは、強く締めつけすぎない。**
変形や破損のおそれがある。

- **本製品の開閉を乱暴に行ったり、本製品を引きずったり、投げたりしない。**
変形や破損のおそれがある。
- **本製品を他者に貸すときは、取扱説明書も合わせて貸し出す。**

準備

⚠警告

- **はしごでの作業や昇り降りに適した服装で使用する。**
ケガや器物損傷のおそれがある。
  - 作業帽（ヘルメット）などを着用。
  - サイズのあった動きやすい服を着用。
  - 荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにする。
  - 運動靴など、滑りにくい靴を着用。
- **バランスをくずすような大きな荷物を持って、はしごでの作業や昇り降りをしない。**
転倒や転落のおそれがある。

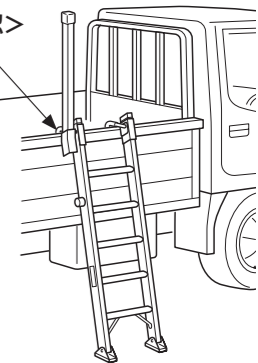
設置場所の確認

⚠警告

- **本製品が不安定になる場所や状態で設置しない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **周囲に危険な物や、障害物がある場所には設置しない。**
転倒、転落や器物損傷のおそれがある。
- **ドアなど出入り口付近で使用しない。**
ドアが当たったり、人が通ることで転倒や転落のおそれがある。
- **滑りやすい場所に設置して使用しない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **風雨の強い状況で使用したり、放置したりしない。**
転倒、転落や器物損傷のおそれがある。
- **振動の激しい場所では使用しない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **使用質量に耐えられずにたわむあおりには設置しない。**
転倒、転落や器物損傷のおそれがある。
- **本製品に異常がある場合は、手直しや補修などをせずに使用を中止する。**
転倒や転落のおそれがある。
- **踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど滑りやすい物が付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取る。**
ケガや器物損傷のおそれがある。

※ 設置する前に、必ず本製品の点検を行ってください。（裏面「ご使用前の点検」参照）

＜フックの位置確認＞

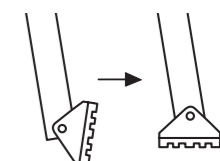
- あおりが確実に固定されていること、ゆすって横すべりしないことを確認
- あおりが使用質量に十分耐えられることを確認

本製品は、以下のような場所に設置してお使いください。

- 平坦で安定した場所
- 滑りにくい場所
- はしごが埋もれない場所
- 足元や周囲がはっきりと見える明るい場所
- 周囲に危険な物がない場所
- 作業や昇り降りに支障のない姿勢で使える場所
- 雨や水のかからない場所
- 強い風を受けない場所

※ 設置後、ガタツキがないことを確認してください。
フックとあおりの間にすき間がある場合は、フックを調整してすき間がない状態でご使用ください。
※ ガタツキがある場合や上記のような問題がある場合などは、移動して安全な場所でご使用ください。

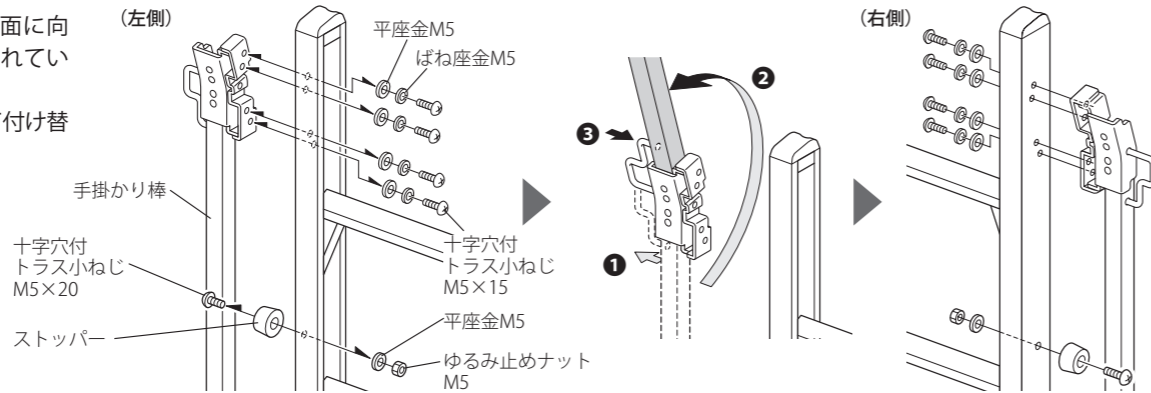
はしごとしての使いかた

⚠警告

- **使用中に本製品の上で物を無理に押したり引いたりしない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **荷台の上からはしごを移動しない。**
転倒や転落のおそれがある。
- **可動式の滑り止め（滑り止め端具ユニット）は正しく設置する。**
安定が確保できないために、転倒や転落事故のおそれがある。

- **安定しないときには、必ず大人の補助者がはしごを支える。**
転倒や転落のおそれがある。
- **はしごから荷台に乗り移るときは、はしごがずれないように注意する。**
転倒、転落や器物損傷のおそれがある。

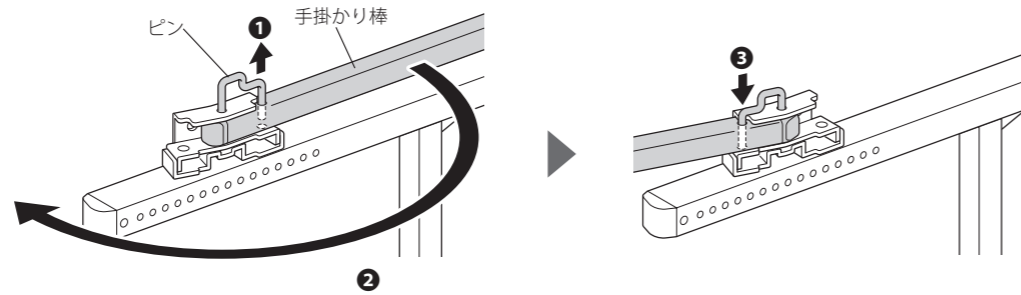
使用前の準備

手掛かり棒の右側への付け替え（必要な場合のみ）

手掛かり棒は、出荷時には昇降面に向かって左側に付くように設定されています。
右側に付ける場合は、取り外して付け替えてください。
※本製品にはゆるみ止めナットを使用しています。締める際は固く感じますが、そのまま締め切ってください。

手掛かり棒の使いかた

1 はしごを寝かせる。

2 ピンを抜き、そのまま手掛かり棒を回転させる。

手掛かり棒がロックされる位置まで回転させてください。

使いかた

1 フックを持ち上げる。

2 はしごの表面が使えるように立て掛けてください。

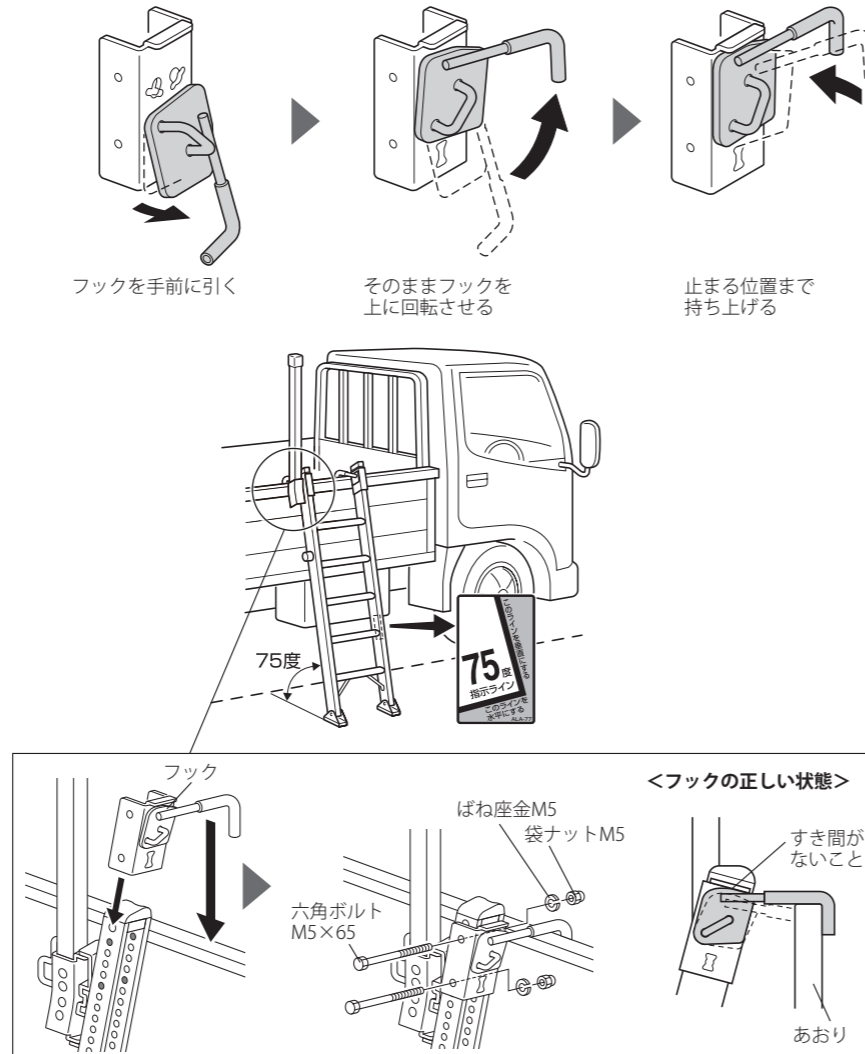
※裏面には「この面は裏面です 使用禁止」の警告ラベルが貼ってあります。

3 はしごを立て掛ける角度を75度になるようにフックの位置を調整する。

※75度の目安は、支柱に貼ってある「75度指示ライン」を、水平な地面（床）・垂直な建物と平行になるようにしてください。
※75 度より立てたり、寝かせた状態で立て掛けないでください。

4 フックを取り付ける。

※フックを取り付けると、手掛かり棒が取り外しできなくなります。

5 はしごを正面から見て、まっすぐ（水平な地面に対して90度）になるよう、あおりにフックを掛ける。

ご使用前の点検

本製品に下記のような異常がある場合は、使用を中止し、弊社までご相談ください。

- 支柱や踏ざんの曲がり・ねじれ・へこみ
- 取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食
- リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ち
- 滑り止め用端具の外れやすり減り
- 支柱・踏ざんなど、本製品各部のガタツキ

⚠警告

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修を絶対にしない。
手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落などの事故の原因になる。

ご使用方法

はしごの昇り降りのしかた

⚠警告

昇る前にフック、手掛かり棒がロック状態であることを必ず確認してください。

- 身体の前面をはしごに向け、両手・両足を使って、1段ずつ慎重に昇り降りする。
- 降りるときは、1段ずつ踏ざんに足をかけ、飛び降りずに最下段の踏ざんまで使って慎重に降りる。
- はしごの昇る側の面に「この面は裏面です 使用禁止」のラベルが貼られていないことを確認する。

お手入れと保管方法

お手入れのしかた

本製品にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

<汚れを取る>

- 汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- 油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。

⚠注意

クリーナーや洗剤を付けた状態で放置しない。
腐食のおそれがある。

保管のしかた

本製品を必要なときに安全にお使いいただくために、十分にお手入れをしてから保管してください。また、転倒による事故や破損を防ぐために、下記の状態で保管してください。

- 雨や直射日光が当たらない屋内に保管してください。
- 高温にならない場所に保管してください。
- 本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。
- 横に寝かせるか、柱などに立て掛ける場合はひもなどで固定して保管してください。

⚠注意

本製品の上に物を置かない。
変形のおそれがある。

本製品を屋外に放置しない。
各部の劣化や腐食のおそれがある。

農薬やセメント・石灰の近くに本製品を保管しない。
化学反応を起こして腐食するおそれがある。

故障かな？と思ったら

<現象> 本製品がガタツク、グラグラする

確　認	処　置
平坦な安定した場所に設置していますか。	平坦な安定した場所に移動してください。
支柱と踏ざんなどの接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	異常がある場合は、使用を中止して、弊社までお問い合わせください。
全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。	
支柱、踏ざん、手掛かり棒に曲がりやへこみなどの変形はありませんか。	
滑り止め用端具が外れたり、すり減ったりしていませんか。	滑り止め用端具を交換してください。 交換については、弊社までお問い合わせください。
エンドキャップ（端具）が外れていませんか。	外れている場合は、使わないでください。 （弊社までお問い合わせください。）
滑り止め端具ユニット（滑り止め用端具）はスムーズに作動しますか。	回転部に泥や異物が付いていないか確認し、付いている場合は取り除いてください。 滑り止め端具ユニット（滑り止め用端具）の取付ボルトを締めすぎていないか確認し、締めすぎの場合は少しゆるめてスムーズに動くようにしてください。
滑り止め端具ユニット（滑り止め用端具）が外れていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。（弊社までお問い合わせください。）
ボルトのゆるみや抜け落ちがありませんか。	ボルトがゆるんでいる場合は、ボルトを締め直してください。ボルトが抜け落ちている場合は、使用を中止して、弊社までお問い合わせください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の指示に従って、適切な方法で廃棄してください。

アルインコ株式会社
〒569-8510　大阪府高槻市三島江1-1-1　お客様相談室　0120-302-669
10:00～16:00　ただし12:00～13:00及び土・日・祝を除く

2018091-HR